



News Release

2024年11月28日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター（東京）

ホコリも積もれば事故となる

～年末は配線器具の掃除・チェックもお忘れなく～

1. 関東甲信越地方の配線器具の重大製品事故

（1）年度別事故発生件数と被害状況

2019年度から2023年度の間、NITE（ナイト）が収集した製品事故情報^{※1}において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県）で発生した、配線器具^{※2}の製品事故は48件ありました。配線器具の重大製品事故について、関東甲信越の都県別の年度別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2、原因区分別事故発生件数を表3に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2 コンセント、マルチタップ、延長コード及びテーブルタップ

表1. 年度別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
事故発生年度	2019年度		1		1	2	1	1				6
	(内数)火災事故		(1)			(1)	(1)					(3)
	2020年度				3	1	1	2				7
	(内数)火災事故				(3)	(1)	(1)	(2)				(7)
	2021年度		2	1	3	2		2	1			11
	(内数)火災事故		(2)		(2)	(2)		(1)	(1)			(8)
	2022年度				5	2	6	3				16
(内数)火災事故				(5)	(2)	(5)	(2)				(14)	
2023年度				2		4	2				8	
(内数)火災事故				(2)		(4)	(2)				(8)	
合計		0	3	1	14	7	12	10	1	0	0	48
(内数)火災事故		(0)	(3)	(0)	(12)	(6)	(11)	(7)	(1)	(0)	(0)	(40)



表 2. 被害状況別事故発生件数

		茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計	
被害状況	人的被害	死亡										0	
		(内数)火災事故											(0)
		重傷											0
		(内数)火災事故											(0)
	物的被害	軽傷				1							1
		(内数)火災事故											(0)
		拡大被害		1		7	5	5	6				24
		(内数)火災事故		(1)		(7)	(5)	(5)	(5)				(23)
	被害なし	製品破損		2	1	6	2	7	4	1			23
		(内数)火災事故		(2)		(5)	(1)	(6)	(2)	(1)			(17)
被害なし												0	
(内数)火災事故												(0)	
合計		0	3	1	14	7	12	10	1	0	0	48	
(内数)火災事故		(0)	(3)	(0)	(12)	(6)	(11)	(7)	(1)	(0)	(0)	(40)	

表 3. 原因区分別事故発生件数

区分	事故原因区分説明	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	山梨県	長野県	合計
製品に起因する事故	A 設計、製造又は表示等に問題があったもの			1	2	1		2				6
	B 製品および使い方に問題があったもの											0
	C 経年劣化によるもの											0
	G 3 製品起因であるが、その原因が不明のもの				2		1					3
	小計	0	0	1	4	1	1	2	0	0	0	9
製品に起因しない事故	D 施工、修理又は輸送等に問題があったもの											0
	E 誤使用や不注意によるもの				3	1	1	1				6
	F その他製品に起因しないもの					1	1	1				3
	小計	0	0	0	3	2	2	2	0	0	0	9
その他	G 原因不明なもの		3		6	3	5	4	1			22
	H 調査中のもの				1	1	4	2				8
	小計	0	3	0	7	4	9	6	1	0	0	30
合計		0	3	1	14	7	12	10	1	0	0	48

(2) 関東甲信越地方において発生した事故の事例

- ① テーブルタップの事故事例（最大消費電力を超える電気製品を接続して発火）（ほこりが堆積してトラッキング現象により発火）

・ 2022年2月、埼玉県、被害拡大

（事故内容）

テーブルタップ周辺を焼損する火災が発生した。



(事故原因)

たこ足配線で定格電流（15A）を超えて電気製品（電気ファンヒーター、パソコン）を接続して使用し、また、マルチタップに他の電気製品を長期間（製造後約23年）接続したまま放置して接続部に埃等が蓄積したため、トラッキング現象が生じて焼損したものと推定される。

- ② テーブルタップの事故事例（電源プラグ栓刃可動部に液体が浸入したことで発火）
・2023年2月、東京都、製品破損

(事故内容)

テーブルタップを使用中、差込みプラグ付近が溶融していた。

(事故原因)

テーブルタップの電源プラグの栓刃可動部に導電性異物を含む液体が浸入したため、栓刃可動部が異常発熱し、周辺の樹脂が溶融したものと推定される。なお、取扱説明書には、「水のかかるところでは使用しない。感電や火災の原因となる。」旨、記載されている。

(本件に関する問い合わせ先)

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 事故調査課

担当者：矢代，佐藤，北村

電話：03-3481-1820